本朝續千載

三

東京帝國大學文學部
特別
へ13
4151
3

田本

本朝濱千鳥

三之巻目録

東京都立中央図書館
特別文庫室藏
永田文庫

一 紙屋の娘三年忌
一 賢女の一命
二 不思議の縁

アカ本
56-4165

愛宕ハ俗別ふ

(三) 小袖乃おんなか

婚礼ふ夜ハ
嫁ハ下女ごろたの事
嫁を時ハ
不仕とて

不仕とる女ハ
時物ハ
仕ふ

(四) 見聞しめ男

門後寄ておとこ
女ハ
紙杭俗俗の
女ハ

千鳥演千鳥巻之第三

(一) 油屋ふする賢女ハ一命付ハ別かの座の者ハ
公家ハ和歌侍ハ武ハ町人ハ耕作ハ
武士ハ町人
とそ伝文風奇〻学ばれて跡ハ
一生風前の燈火接ハ一時乃事世ハ
罪〻ハ後世ハ乃保ふ老大とれ
彩色ハ優ハ法師乃
ふ
いるでかりとりのでふく
それで今ハ世乃風俗とかるに

[illegible]

[illegible]

[illegible]

家を引き抱きつく深敬くこゝろへべ金万汗を流して
く愛の貴ぬいくゝ泣がゝりおとも七月の暑さうら
焦れ苦くゝく能火を焼かもそ下女と呼ぶも間を
迫でまを起せど立ずもそ言ありられば育へ
といぶくく一万くゝ泣るるまでられで泣く
くト女きつの相もあ明方とおと失とうら
能かげんれど見い相門仏のありう泣ちかに涙
を一間ゝ泣くおどうら金仏仏より彼育へのいざと
れちつの今青年をれ面まとかんぐ不義の道に流
れども門仏ますかもあゆは仇お言世ものと
一家一門見ひさめ先河面へ術べと丁流の涙仏

おひつきの枝葉ゆひすのやせど愛年にも立絶く
捉ま御年を上を御りかの抱へはおおもま
その子細と宮せ行の育へ仏ゝ中九泣い聖道
ゝ私仏教年かれば面と宮者に仏日年日
乃至五年日と涙ひべも絶おおぐある何一言つのり
中世の作ものくはもと上年もも有せしおく
るまでまで老又つへお育ひべもも泣ゝ
ちはは有へで只勢世涙らのとらら業にの
くく表ていと又と宮ゝうくゝ有ゝ門立義
林病死いは悪ゝは胸お涙は面涙宮者と業も
世樟一人へれめとそ不仏ゆへ有へ仏教に悪書れた

ものいひ[illegible]をし情を尽し時ふ御[illegible]ふ[illegible]
石[illegible]山[illegible]様々へ[illegible]を[illegible]ふ[illegible]御[illegible]下あるいと
近里[illegible]まで[illegible]流と[illegible]流て[illegible]あ[illegible]と更ふ其
[illegible]人[illegible]ぞ[illegible]遊や[illegible]人[illegible]に[illegible]づ[illegible]と[illegible]ふ
さしあげ我[illegible]家[illegible]ありと富[illegible]の幸[illegible]あ[illegible]と新
[illegible]れ[illegible]と[illegible]れ[illegible]と[illegible]御制法の[illegible]と[illegible]
死[illegible]と[illegible]て[illegible]と又[illegible]術[illegible]と[illegible]上[illegible]に御[illegible]
體[illegible]り[illegible]と[illegible]を[illegible]と[illegible]れ[illegible]
[illegible]と山[illegible]に[illegible]づ[illegible]御[illegible]る[illegible]れ[illegible]
近[illegible]か[illegible]と[illegible]と[illegible]を[illegible]を[illegible]を[illegible]
[illegible]安[illegible]に[illegible]ありと[illegible]と[illegible]と[illegible]と[illegible]
[illegible]

[illegible]と[illegible]に[illegible]と[illegible]と[illegible]と[illegible]
[illegible]と[illegible]と[illegible]と[illegible]と[illegible]
[illegible]日[illegible]年[illegible]月[illegible]と[illegible]と[illegible]と[illegible]
[illegible]と[illegible]と

扨て深くさるの父の業敵なりとのぞむ心せ
十四五より嘗を思ふ蛇の尾へ筋有て愛宕の
修験と成て十五の春たづめて父の敵ゆゑ
城下へ帰りむさくほう育れゆゑ宮仕を
父のうらみの女房あるを面もたぶる神れ下ら
先に父うの山墓をたづれ枝ふを面をまのぐさせ
と彼一ふ仕番花りくを我分は憎とをりくは因果
めでゝ梅四八行方くゝ嫁れ来にあるするをくされ者
つりくて十三年れたるを日に今日あるほのと
ふて悪しき性分を紅ひ声ばあげむせびるるを
無釣は一ふ父が嫁とどもむくひさある日人を面とを

物うされ乃憎ふ農業とのに老人ありしが低一ふ祇柏
家せ出分はしるあれ嫁ゆて結婚のある面宮て移
乃人まわ凡新八まくくあれ嫁ゆ乃云ふ北ど
像ふその女房と言せ男八今もゆくれる商賣
せ一梅田町新戸屋つくいふりのあり遣ハをそめ
の女房まぐ嫁しをせび親れ家にあり活動屋つ
ふのうふ凡そあ深ふくゆ俺ひをほが我分新の商ふ
まを蝶ゆと入りくゆかうを嫁れあや同ふせびくや
他家ふ活しるりとて性のさうゆ祇す男の祇性
うを嫁れうくますぐ求みさうりてくをにぐふを解
ざふまし教まあれどもあふ分で左や右とひ

まゐる間ちゝ彼右田へおもてうちあはせ[illegible]
姫と打とうかゞひ霄ちゝ取に思ひ入くはさきを宮
せ[illegible]あり[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]新しく成の[illegible]
[illegible]あ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ

文佛經ゆへこ世因果れ理と教て四生衆物の種
いまゝめ来ハ神通来ハ変化乃思くと信ゝ四つの極
とゝ所ゝ所ゝ衆物諸ハその宗物ゝ様ゝすゝて
仏樂とする役所ゝ変化乃所ゝ乃神ゝ乃松原所ゝ
いくゝ万ゝ数大門あゝ為ゝ金堂かゝ乃おゝ
金銀れ数ゝ海ゝそ生ゝとゝ乃ゝ女ゝ十八ゝ
千万ゝまで七八人ゝ乃ゝ人ゝ乃ゝ役ゝ者あて
やうゝ神ゝ乃ゝ都めゝ乃ゝ金堂ゝ乃ゝ物ゝ
後ゝ地獄ゝ乃ゝ罪ゝ乃ゝ苦ゝ乃ゝ責ゝ乃ゝ男ゝ
女ゝ乃ゝ所ゝ乃ゝ責ゝ乃ゝ苦ゝ乃ゝ人ゝ乃ゝ和ゝ鳥
鳴ゝ乃ゝ声ゝ乃ゝ変ゝ乃ゝ南ゝ無ゝ薬

治とりて後、若逢ふ宿ふてり。
ふそたつとりて傾城あるは、唐人は秘密と信ずる
なり。第一、学て今は、乃女醫と呼まて、これ不審治
いとくすしとそ、俗ふ都は、廣ひろかりて、病人へ
まてらくかくふもいとくわしく、宮町と、家は、富屋く
ある、あ、碧屋のむすめ、宮人、さびしく、右衛門佐の
親でもい、貴妃の盛とうちし、紙田乃杖の、唐人、民の歌
踊乃、奉と、吐く、軍人へのもとまでうせ、世にも、揚り
美人、ふまびま、婦、寵、れ、ふまり、算擬ふ、年、これく
と、年十八乃、秋の、はより、俗ふ、男と、乃、員て
なられと、云、病つ、さふ、ふ、ふ、と、云、ふ、代、ふ、と、ふ

かぐ、ふ、ふ、ふ

[illegible]れぐさもそなへ[illegible]ゆく彼女醫にたんせられ
ぐ[illegible]門のうく[illegible]陳去紙が離魂病よりおりかげれ煩
[illegible]のこゝろ[illegible]ずして[illegible]も同業にく
年[illegible]の[illegible]橋[illegible]急さる[illegible]屋[illegible]門[illegible]
乃[illegible]より[illegible]乃[illegible]後[illegible]門[illegible]
[illegible]に出[illegible]ひとりへ遣らずりとら[illegible]先
[illegible]する[illegible]附[illegible]男[illegible]彼女醫
[illegible]り[illegible]つ[illegible]病人[illegible]
[illegible]婦[illegible]ゆく二字
[illegible]女[illegible]の[illegible]
[illegible]藥[illegible]

[illegible]寅[illegible]湯町[illegible]補[illegible]奥[illegible]
[illegible]病[illegible]彼女醫[illegible]
乃[illegible]年[illegible]二三の[illegible]その[illegible]
[illegible]町[illegible]
[illegible]老女の[illegible]
[illegible]女中[illegible]奥[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]去[illegible]
[illegible]修[illegible]
[illegible]

男松女松の側おすびたる門を見て奥へ通る一間よ
き舞台の左右にかくる幕是は草綱目の所傳変志
あり艶男女と書る信夫石にて二枚と云ありて遠近業
陸奥なるにて又たゝ遠つる場合あり一せう潮海
あくんばば如後かるのひがしと云ゆえ老女すぐさま
女腸ふかくるる上郎たゝく近く白髪の雲に憂び
あづ〳〵弘〳〵べつ〳〵面と懺悔とすべ〳〵あづ〳〵的
右郎ちの四ちの国ちの国ぐ年十二ちの春れ法ちの高
常れ女に振りかぐ〳〵さ〳〵く男のすの風俗とあく
人はあるこの面あらく男にちびづ〳〵名俗
ふれで世ちの数奇ちのあへ法ちく俗〳〵して云常と亟

又八年に知云せて遠ちれ風ふこづくさ面くさいび
りのすきと二人の親ちわれがちぶれゆちずちべ月
日に実ちのく仏年面あ世れ〳〵ひとそ十といひつも
とちの状ふあふ法ちびの郎のかく人ち名れ男ち亟
ちかく〳〵俗ちすそ安こも見へびく云亟人ちよ
も見程ちあり面と秋ぐ絵りしちち和ちく月
みとちりさ面くと流れで男ちいて人ちの
こそうなる数年皆法ちるびに秋ち風ふゆ法び
武財その五に何居て技ちこと徹あちむち
金俗ちと見我又ちあく俗り法男ちて法ちより云
きれ数ちとひちまく云ちり俗亟ちとちびち

[illegible]

(三) 愛石は他別の中なる女 [illegible] 不義と[illegible]
[illegible] 男
[illegible]
[illegible]
[illegible]

ありがたく細ゝとて南地おまつり門徒よりこれを拝
なる所町屋へ今様れい信しそ家門こそ古せ人場
をかけ作り書ものもとりうべ世と心安くくてす様く
近者ゝより色とすくめ法門作り自分ゝ門へ入りのうれ
時来うく法文ゝうそ作り人ゝとあそび独寝覚の家
ゝを法家れゝあるゝ法かゝべく近ゝ人へれ拍中
所の茶屋ゝもゝあ蝶ゝ山西ゝ山御城下ゝ人ゝ沢
ゝるゝの西御ゝれゝ鼻筋ゝ色ゝ作りゝ色ゝ家
お入ゝ行ゝ家れゝくゝなゝ先ゝ作ゝゝれ生せと嫁れゝ
へを門通しゝて主ゝゝれゝ人ゝゆゝれゝりゝ子ゝ二相
り様作ゝ御遊ゝ帝ゝ舟のゝうすゝ家ゝんゝゝゝあるゝゝ

先むかうの侍合戦の事聞かんとかうかうをうちかたらひ
大勝負のうまとも狩ふ花勝遠乃宣後あれどの義
和れたる男れ心うちとの事奥うの事人々とも紀言
も貴尾好お源先人は源平行くそ先利登ま
後乃見ゆき際れ書うるく氏女れ世のうの行道
秋う後さとのく時書しつうの月日とも一とせ志
いうの中源ふ見おくに幸とうく遊ふ知ものの
まず秋里へ見ゆくゆうずさうとれ行ふ一つ不見
ゆ見とて右のいづくもとれ後ゆでうも道行ふ
柳山女宗れ親ふれ世田町と右伊後屋つとて道
ふれうまうの沢大酒屋乃むすめ右へもとて宗

源氏乃ふりかげのもとに父母れ寵愛ふうく十六れ年一家
乃門ふ磨れ其腰ふ乃ふうとも厳格所用ゆ中者れ
のふおくこう乃愛者とすり人々ふうくにそすど道ふどその
後ふつ道そふ女房れ仕合ふ中わまで離遊と呼び
二月後ふ中ふ右ふ後づきれわ柳ふ秋師いくく
ふうくかりしとふのうとれ別深ふつ道そふ房ま
ふ者ふくふ弟といづくふ見ふうう乃郷者とふ世ふ
うは我対面乃和れつ道ふ中ふ腰ふ中者後物師
まずとれ世方ふ乃和後いうくふ雑後ふくふの
後ふいづくふ後ふれ道とふ腰ふ抱ふ尉ふ乃師乃ふ中
長乃久ふるれゆくふ後ふ乃ふれすとふ後ふ人ふ形まれ

れなごりの名残おしくもいとれどあひがたきと
も打あはれなる源がりのつゝ迄ハ大原門方ハ古き
所あれてたゞしき畑ハ人家多く繁へゆく麻のゝ袖
とつゝくゝ見とゝろくるゞのに名をたゝいとの宿ごと
くくゝ見ひそうきこゝろくゝ柏ゝ迄ハ
くあ東面して見ハ見のをもしろわすいとゝ
安しそ奥ゝ面のあるにゝ源とあゞ迄ゝに
一度奥さあゆゝを云ゝ其の紀美寺の奥
ゝの林ゝハ古き清友ゝ迄ゝ迄ゝ
まに安ゝ男ゝ名ゝ迄ありて宿ごゝや高世ハ
間なくゝ見ゝ迄ゝ行ゝ奥ゝ参ゝ世ゝ中ゝ迄て

あゝゝさゞ見あゆゝくゝ元中にゝ奥ゝ面ゝ
ゝゝくゝゝゝゝ仕ゝあゝゝ源ゝ代ゝ古き清水ゝ
の迄ゝ師ゝ紀ゝくゝ見ゝゝ迄ゝ
ゝ迄ゝ仕ゝ奥ゝ面ゝ迄ゝくゝゝ
方ゝくゝ清ゝゝなゞゝ世ゝゝゝ
古き清ゝのゝ迄ゝ迄ゝゝ迄ゝくゝ
ゝ見ゝゝゝ迄ゝゝゝ迄ゝ
あゞくゝ見ハ遠迄ゝ迄ゝ清ゝ迄ゝ
あゝゝ師ゝ秋ゝ一ゝ迄ゝ
師ゝゝゝ迄ゝ師ゝ
ゝゝ迄ゝゝ見ゝ師ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

千鳥巻之三

まにこゝかの門ゝ家をて道の行福ちすを四ゝ
もりかりひと籠ゝ[illegible]みなおの師ちつぐらをあぐ[illegible]
あぐゝ首尾をあくゝちぐらくゝ慌へゝゝ家まぐれ
ふうらりもれど邪どの風呂あがりゆくゝ[illegible]
杉[illegible]れゝゝ[illegible]も国果や[illegible]つく[illegible]へ[illegible]く家ゝ解
四文銭ゝゝ[illegible]見へゝゝ大ぐれ文ゝれば[illegible]
うゝゝく門ゝゝ[illegible]
紙ゝゝ呼ゝ[illegible]
まゝ[illegible]へ[illegible]
後ゝ[illegible]ゝ家へ一門ゝ[illegible]
ゝの[illegible]道ゝゝ[illegible]町の宿[illegible]

まゝ[illegible]ゝ合せ[illegible]ゝ[illegible]
ゝゝ耳鼻ゝ[illegible]
あへ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]掃[illegible]
ゝ代へ牛[illegible]
ゝ行上ゝゝ[illegible]
通ゝ鼻ゝ[illegible]
ゝ門[illegible]
[illegible]
[illegible]
ゝゝ[illegible]
[illegible]

御しべ左右の月色めと二人ひとつまくらの夜深かく屋の
辻風ふきこゝ行くせ断くと堪忍ぶ見て伝片上
中色重かゞく独女へ初恋近ある三ゝく怪り幸中町の茶
屋後ちゝうゆ親分に新まれ付屋ありとも亭主名
ちりり男ぶれるゝ色と吟味せしれ初言ふて、
今伝兵衛女房ことはりゆきゝ変り敬異振屋ゆて
中立せ一さよとゝ今女と言ふれと無井田と云
ちゝゆゝ兄ゝ世語ゝ月日長くハ見と面
ぐゝ毒ゝ手ゝ師商ゝ中れなゝせ一ゞゝ文ゝりん
根ゝちゝか御べ新芸ゝ面よゝあり代付ゝその
ぐゝりゝ文伝兵衛あゝ色入ゝす四代右ゝ屋ゝ宿り

ゆゝ新ゝ中宗ゝ中ゝ文ゝ
ゝりゝ面ゝ宗ゝ中ゝ
ゝゝ面ゝ
ゝゝ男ゝすゝ
ゝゝ伝ゝゝゝ
ゝゝ師ゝ